

ISO 13493

Meat and meat products — Determination of chloramphenicol content —

Reference method

肉及び肉製品—クロラムフェニコルの定量—液体クロマトグラフを使用する方法—参照方法

1. 規格の概要（仮訳）

当該文書は、家畜や家きんを含む肉の筋組織のクロラムフェニコル含有量を測定するための液体クロマトグラフ法(LC法)を規定している。

当該文書は、家畜や家きんを含む肉及び肉製品の筋組織、ケーシング、肉の肝臓のクロラムフェニコル含有量を測定するための液体クロマトグラフィータンデム質量分析法(LC-MS/MS)を規定している。

当該文書では、LC-MS/MSを参照方法として規定している。

LC法は、6.5mg/kgを超えるクロラムフェニコル含有量の測定に適している。

LC-MS/MS法は、0.1 μ g/kgを超えるクロラムフェニコル含有量の測定に適している。

劣化した試験サンプルはこの方法では分析できない。

2. 発行状況等

1998年9月に第1版が発行された。

その後、2019年3月に改訂が承認され、2021年8月に第2版が発行された。

3. 規格の構成（仮訳）

まえがき

1 適用範囲

2 引用規格

3 用語及び定義

4 原理

4.1 液体クロマトグラフ法

4.2 液体クロマトグラフィータンデム質量分析法

5 サンプリング

6 試験サンプルの準備

7 液体クロマトグラフィーの試験方法

7.1 試薬

7.2 器具

7.3 手順

7.4 計算

7.5 精度

8 液体クロマトグラフィータンデム質量分析法の試験方法（参考方法）

8.1 試薬及び物質

8.2 器具

8.3 手順

8.4 計算

8.5 精度

9 試験報告書

附属書 A(参考) クロラムフェニコル標準液の HPLC クロマトグラム及びクロラムフェニコル標準液の LC-MS/MS クロマトグラム

参考文献